

I. 活動報告

1. 活動の成果

2015年度は、前年度の活動内容を継続し、『安心感、安定感のある、永続できる自助グループを作るための土台作り』を目標とし、活動した。

1) SIAb. ミーティングについて

- ・ 毎月2回開催し、年間合計24回実施した。
安定した開催により、参加者が安心して参加できる場所づくりを目指した。
2016年度初旬に開催会場が使用ができなくなるので、新しい会場を探し契約した。
(但し、今期は2016年3月31日までで、以後2年毎に契約更新が必要)
- ・ 活動内容の詳細を検討
(定期的にニーズにあった内容かどうか検討し、改変をした)

2) ホームページによる情報配信活動報告

- ・ ホームページ等による情報配信の継続

3) 助成金申請

- ・ ファイザープログラム…結果：1次審査通過・2次審査不採択
(管理事務、動画編集、各種問い合わせ等にスタッフ全員で対応できるよう、パソコン、タブレット等の機器の購入の為の助成金を申請)
- ・ ゆめ応援ファンド…助成金配分(¥217,000-)
* 2016年4月20日振込入金=2016年度にて計上
(子どもに関わる支援・教育・行政などの現場で活躍する方々に向けて、性虐待の被害に遭った子どもへの対応について、私たちサバイバーの体験や意見を発信し、現在進行形の被害に対応する一助となり、子どもたちの生きやすさに直結すると確信し、そのためのイベント開催準備のための経費の助成金を申請)
* 上記イベントは、2017年2月に開催予定

4) 会費制導入の検討

- ・ 正会員
(団体理念に賛同し、運営に参画する会員でスタッフ会議に参加できることを条件)
- ・ 賛助会員(団体理念に賛同し、組織面を資金面でサポートする会員)
* 以上、2点については、ゆめ応援ファンド助成事業イベント時、募集開始予定

2. 活動内容

2015 年

- 1 月 5 日 NHK 福岡放送局から取材を受ける
(性虐待・近親姦虐待の実態と支援活動について)
- 7 月 22 日 JUST 通信インタビュー『JUST 通信』(89 号) 対談
「特集：リカバリング・アドバイザーと SIAb. 経験者だからできること、
経験者同士でできることは？」
- 8 月 11 日 「被虐待経験のある成人に対する自助グループによる支援のあり方に関する
研究」をテーマにした卒業論文執筆のための学生の取材に協力
- 12 日 性暴力と報道対話の会 交流会 参加
- 10 月 27 日 映画『月光』を勝手に応援する Podcast 出演協力
- 11 月 11 日 性暴力と報道対話の会 勉強会に参加
- 12 月 9 日 性暴力と刑法を考える当事者の会 主催イベント
「私たちの声を聴いてください」
～性暴力被害者の声を反映した刑法性犯罪の見直しを求めて～にて登壇

2016 年

- 1 月 12 日 性暴力禁止法をつくろうネットワーク・性暴力と刑法を考える当事者の会
共催 院内集会「被害当事者の声を反映した改正！性暴力被害者の実態に
した刑法強姦罪の見直しを」に参加
- 15 日 Supporters' unity 第 64 回勉強会に参加
- 19 日 映画『月光』を勝手に応援する Podcast 出演協力
- 2 月 10 日 性暴力と報道対話の会 当事者・記者へのガイドブック作成検討会 参加
- 24 日 性暴力と刑法を考える当事者の会主催イベントに登壇
「傷に時効はない」 ～釧路・性的虐待訴訟勝訴判決と時効の壁を考える～
- 9 日 Supporters' unity 第 65 回勉強会に参加 「SIAb. の活動報告会」
- 30 日 性暴力と報道対話の会 当事者・記者へのガイドブック作成検討会に参加

II. 事業報告

1. シェア・ミーティング&ディアログ事業活動報告

回復に取り組みはじめた当事者が、安心して語れる場で、過去のトラウマに向き合い、当事者の仲間と語り合いながら繋がり、自己の問題の解決に繋がる何かを掴みながら成長し、回復し続けることを目的として開催している。

1) 開催について

- ・ 開催…24回 *月2回開催 (第1・第3水曜日)
- ・ 会場…IFF 教育センター

2) 内容詳細

18:15~19:45 シェア・ミーティング (いっぱなし・ききっぱなし)

20:00~21:00 ディアログ (対話の時間)

2015 年度

- ・ 延べ参加人数…162名
(内初参加: 12名)
- ・ 平均参加人数…6.8名/回

*前年度 (2014 年度)

- ・ 延べ参加人数…206名
(内初参加: 10名弱)
- ・ 平均参加人数…8名/回

③事業収益

- ・ 献金額合計 60,921円
(*参加者には100円以上の献金をお願いしている)
- ・ 平均献金額 2,538円/回

④事業支出

- ・ 会場費 2,000円/回
- ・ 今年度合計支出 48,000円

年度	西暦	月	日	参加人数	献金
H26	2015	4	1	5	2,300
			15	8	2,750
		5	6	10	2,258
			20	8	2,518
		6	3	7	2,370
			17	5	2,300
		7	1	7	2,516
			15	9	2,700
		8	5	8	3,120
			19	6	2,982
		9	2	5	3,400
			16	9	2,440
	10	7	7	2,775	
		21	7	2,170	
		11	4	4	1,900
			18	4	3,096
		12	2	5	2,870
			16	6	2,211
	2016	1	8	7	2,160
			20	7	2,839
		2	3	5	1,786
			17	9	2,930
		3	2	7	2,130
			16	7	2,400
	合計			162	60,921
	平均			6.8	2,538

2. ホームページ等による情報配信事業活動報告

当事者同士で語り合い、協力し合いながら回復を目指すことが常識になることで、当事者が孤立することを減らしていくための情報を SIAb. のホームページから発信し継続していく。

被害当事者や加害当事者、サポートをして下さる方々、治療や公的支援に携わる方々、また、関係機関や社会全体で盛んな議論や活動が展開されて、治療方法や予防方法が日々検討されていくような社会をつくるための働きかけを続けていく

1) ホームページからの情報発信

① 2015 年度における動画の編集と配信

- ・ 凹らの時代 Series3 の編集と配信 Series3(3)～(9)
- ・ ツナガル*カタル ダイジェスト版作成
(=2013 年度に UP した動画をダイジェスト版として約 40 分に編集し、SIAb. の活動をダイレクトに紹介できるように Top ページをカスタマイズした)

② 既存の動画の配信継続

- ・ Series1=SIAb. のメンバー3 人（近親姦虐待被害当事者）での語り合いを収録
- ・ Series2=近親姦虐待被害当事者、加害行為経験者、双方の治療に携わる人の語り合いを収録
- ・ Series3=実際の SIAb. シェアミーティングとフェローシップの様相 (1)(2)
- ・ 当方見聞録=性暴力・性虐待問題で繋がる多様な仲間とのトークセッション
- ・ ツナガル*カタル ダイジェスト版=2013 年度に UP した動画を約 40 分に編集

○ツナガル・カタル 動画配信実績 (* 下記表はアクセス数)

#	凹らの時代										当方見聞録				ツナガル*カタル ダイジェスト版			
	Series1 あや×なみ×けいこ				Series2 斎藤先生×Kさん×なみ×けいこ				Series3		Series1 まさこ×けいこ				2014	2015	合計	
	2013	2014	2015	合計	2013	2014	2015	合計	2014	2015	合計	2013	2014	2015				合計
1	88	82	46	216	84	83	40	207	24	133	157	63	48	56	167	201	110	311
2	73	54	37	164	64	58	27	149	12	140	152	43	38	25	106			
3	86	51	172	309	71	115	38	224		162	162	37	25	21	83			
4	96	41	19	156	65	52	36	153		158	158	36	19	22	77			
5	74	36	20	130	9	63	36	108		118	118	44	17	17	78			
6	74	40	25	139	8	66	38	112		174	174	29	19	19	67			
7	71	38	18	127	8	85	36	129		94	94	39	27	24	90			
8	98	39	24	161	10	100	41	151		50	50	59	57	108	224			
9	52	32	17	101		110	35	145		71	71				0			
10	56	26	20	102		123	37	160							0			
11						118	44	162							0			
12						94	41	135							0			
13						122	42	164							0			
14						257	47	304							0			
	768	439	398	1605	319	1446	538	2303	36	1100	1136	350	250	292	892	201	110	311

2) ソーシャルネットワークからの情報発信

ホームページと Twitter、Facebook を連携して、活動の内容の情報を拡散

- ・ Twitter フォロワー数 83 件 (2016 年 2 月 22 日現在) * 昨年 62 件
- ・ Facebook ページにいいね数 39 件 (2016 年 2 月 22 日現在) * 昨年 31 件

* 本年度は、当事者以外にも支援職（主にカウンセラー）などのアクセスが増えた。支援職の方や、当事者や当事者家族、また、治療者や友人などの関係者に紹介された方々からの問い合わせやコメントがあり、確実に活動が周知されていることが実感できた。

Ⅲ. 決算報告

SIAb.

SIAb.

活動計算書

平成27年04月01日～平成28年03月31日まで

(単位：円)

貸借対照表

平成27年04月01日～平成28年03月31日まで

(単位：円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1.流動資産		
現金預金	82,323	
流動資産合計		82,323
2.固定資産		
固定資産合計		0
資産合計		82,323
II 負債の部		
1.流動負債		
未払金	0	
流動負債合計		0
2.固定負債		
固定負債合計		0
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産額		60,670
当期正味財産増減額		21,653
正味財産合計		82,323
負債及び正味財産合計		82,323

SIAb.

財産目録

平成27年04月01日～平成28年03月31日まで

(単位：円)

科 目	金額	科 目	金額
I 資産の部		II 負債の部	
現金		借入金	
現金手元有高	0		0
普通預金		未払金	
ゆうちょ銀行	60,670		0

平成27年度(2015)ホームページ管理費

ホームページ管理費	
WEBサイト年間管理費 (2015.07.01振込)	38,880
レンタルサーバーチャッパプラン (2015.03.09～2016.03.08)	6,480
更新独自ドメイン年間使用料 (2016.01.31～2017.01.30)	3,067
合 計	48,427
サイト修正作業 * 偶発的な問題に対応した費用等	
トップページ新着表示カスタマイズ (2015. 07. 01振込)	8,640
合 計	8,640
ホームページ管理費合計	57,067

* 現在、ホームページのレンタルサーバー料金、ドメイン使用料およびカード決済のみでの支払い条件の契約は、事務手続きを簡素化する為に、個人クレジットカードを使用して、カード決済としている。

科 目	金 額	
I 経常収益		
1.受取会費		
正会員 @ × 人		0
賛助会員@ × 人		0
受取会費合計		0
2.受取寄付金		
受取寄付金		60,000
3.事業収益		
①シェアミーティング事業		
受取献金		60,921
② ホームページ等による情報配信事業		
受取謝礼金		13,000
事業収益合計		73,921
雑収入		13
その他収益合計		13
経常収益計①		133,934
II 経常費用		
1.事業費		
(1)人件費		
給与手当		0
アルバイト人件費		0
人件費計②		0
(2)その他経費		
講師謝礼金		0
会場借上費		48,000
旅費交通費		0
雑費		0
印刷製本費		3,532
通信運搬費		3,034
その他経費計③		54,566
事業費計②+③=④		54,566
2.管理費		
(1)人件費		
給与手当		0
アルバイト人件費		0
人件費計⑤		0
(2)その他経費		
旅費交通費		0
雑費		0
ホームページ管理費		57,067
事務手数料(振込手数料)		648
団体謝礼金		0
会議費		0
印刷製本費		0
通信運搬費		0
通信費		0
会議費		0
会費・参加費		0
消耗品費		0
租税公課		0
業務委託費		0
その他経費計⑥		57,715
管理費計 ⑤+⑥=⑦		57,715
経常費用計 ④+⑦=⑧		112,281
当期正味財産増減額 ①-⑧=⑨		21,653
前期繰越正味財産額 ⑩		60,670
次期繰越正味財産額 ⑨+⑩		82,323

IV. 平成 28 年度（2016 年年度） 活動計画案

2016 年度は、『安心・安定した居場所作りと、私たちサバイバーの体験や意見を発信し、現在進行形の被害に対応する一助なる活動』を目標とし、重点的に行っていく。

1. SIAb. ミーティングについて

- ・ ミーティングを増設し、毎月 3 回開催、年間合計 36 回実施する。
- ・ 増設のミーティングは昼間行き、夜間参加が難しい方も参加できるようにする。
- ・ 公的な施設を利用し、固定費を削減する。

2. ホームページによる情報配信活動報告

- ・ ホームページ等による情報配信を継続する。
- ・ 新しい動画を撮影、配信する。

3. 助成金申請

- ・ 新たな助成金を申請し、当事者主体のイベントを実施する。
- ・ 2016 年度 ゆめ応援ファンド助成金を活用し、子どもに関わる支援・教育・行政などの現場で活躍する方々に向けて、性虐待の被害に遭った子どもへの対応について、私たちサバイバーの体験や意見を発信し、現在進行形の被害に対応する一助となり、子どもたちの生きやすさに直結できるような語り合いやワークショップで学び合えるような、イベントを企画、開催する。(2017 年 2 月に開催予定)

4. 会費制導入の検討

- ・ 正会員
(団体理念に賛同し、運営に参画する会員でスタッフ会議に参加できることを条件)
- ・ 賛助会員 (団体理念に賛同し、組織面を資金面でサポートする会員)
- * 以上、2 点については、ゆめ応援ファンド助成事業イベント時、募集開始予定